

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中澤雄一
	全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3326
事務事業名	4097 老人福祉センター管理事業											
所 属	100300 健康福祉部・高齢者福祉課											
施 策	01020400 高齢者福祉の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030109 民生費・社会福祉費・老人福祉センター費										
	事業	010000 老人福祉センター管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
老人福祉センターを活用して、高齢者の教養の向上、レクリエーション等により心身の健康増進を図る。						老人福祉センターくつろぎ荘を指定管理者に委託し、施設の適正管理運営を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を須崎市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供した。	老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を須崎市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供した。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を引続き須崎市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供する。	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	老人福祉センター年間利用者数						
算式						単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	-	61,000	-	-	-	
	実績	50,280					
指標選定の理由	利用者数での評価が適当なため						
最終年度目標の根拠	第7次須坂市須坂市老人福祉計画(平成27~29年度)						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		31,897	31,260
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	35
一般財源		31,897	31,225
人員数(人)	正規職員	0.2	0.1
	嘱託職員	0.1	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,443.8	721.9
	嘱託職員	275.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,719.3	721.9
市民一人当たりの経費		0.6	0.6
総額		33,616.3	31,981.9

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,220	修繕料
13節 委託費	30,677	老人福祉センターくつろぎ荘指定管理者委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	930	修繕料
13節 委託費	30,330	老人福祉センターくつろぎ荘指定管理者委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の教養の向上、心身の健康増進を図る。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 教養の向上や心身の健康増進を進めることにより、高齢者の介護予防につながる。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進んでおり、修繕費用が増加する見込み。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を須崎市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、施設の適正管理運営を行った。
--

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
高齢者の生きがい対策や福祉の増進を図る場として必要な施設である。		指定管理者と連携し、利用者の増加を図る必要がある。 。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	